

経営比較分析表（令和4年度決算）

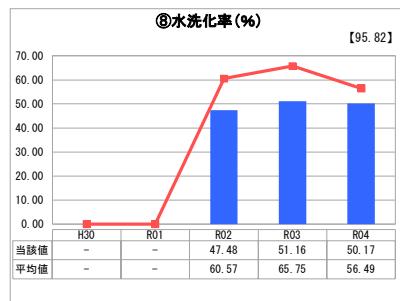
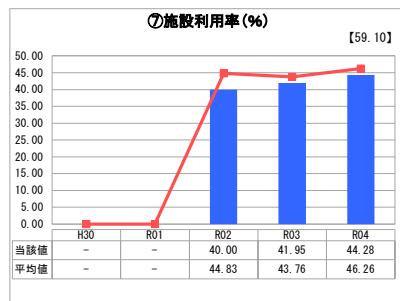
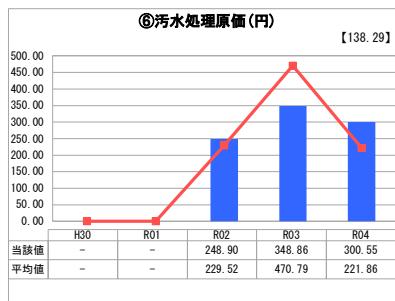
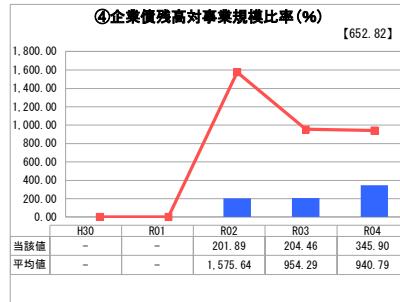
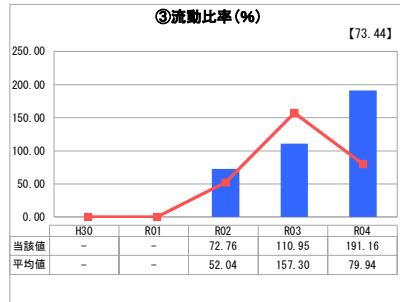
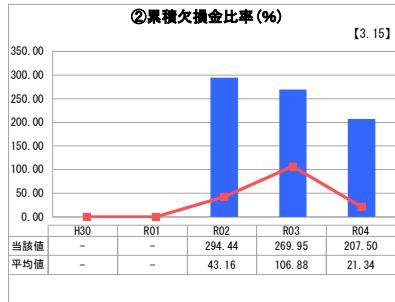
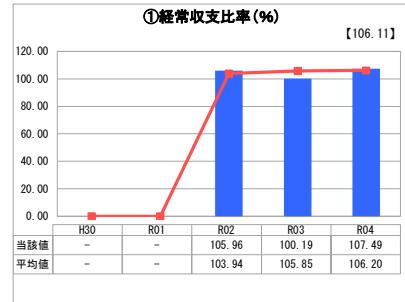
島根県 大田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	51.75	20.43	99.38	3,300

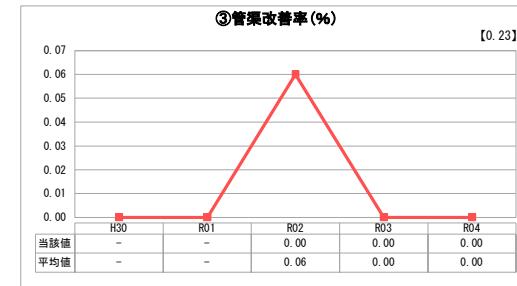
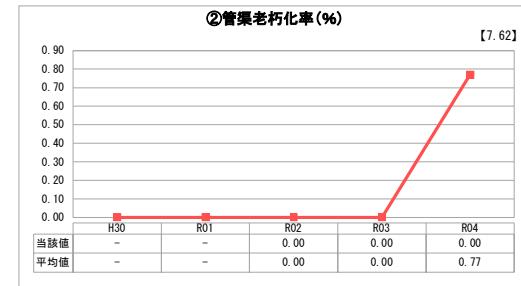
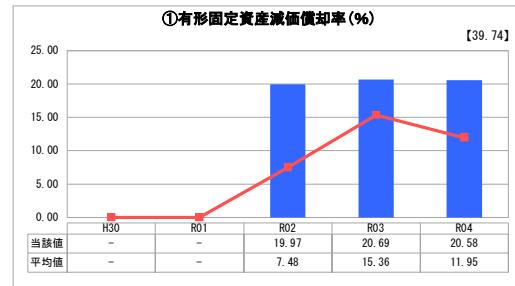
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,773	435.34	75.28
處理区域内人口(人)	處理区域面積(km ²)	處理区域内人口密度(人/km ²)
6,645	2.64	2,517.05

グラフ例	
■	当該団体値 (当該値)
-	類似団体平均値 (平均値)
□	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
下水道接続の進捗に伴う使用料収入の増加や、修繕等の減少により、昨年度に比べ改善した。
100%を上回っているものの、経常収益の大部分は他会計補助金などの営業外収益である。

②累積欠損金比率
令和2年度に公営企業へ移行したが、その時点で欠損金が発生していた。引き続き欠損金の解消に努め、健全経営を目指したい。

③流動比率
100%を上回っているが、下水道整備事業関係の未払金が多く、資金繰りに苦慮しているのが現状である。他会計補助金を分割して交付してもらったり、資金を一時的に借り入れたりして、運転資金を確保している。

④企業債残高対事業規模比率
下水道工事の実施に伴い企業債残高は年々増加しているため、この指標は整備完了までは上昇傾向が続くことが見込まれる。

⑤経費回収率、⑥汚水処理原価、⑦施設利用率
有収水量の増加に伴って使用料収入は増加しているが、維持管理費も増加傾向にある。経費回収率、汚水処理原価とともに前年度より改善したが、類似団体平均より下回っている。施設利用率は下水道接続の進捗に伴い増えている。

⑧水洗化率
下水道への接続が進んだことで水洗化率が上昇しているが、類似団体平均と比べるとまだ低い状況にいる。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
管路については法定耐用年数50年のため、減価償却はまだ進んでいないが、処理場施設内の機械設備等は法定耐用年数を超えていくことも考慮するものが出ており、今後、計画的に更新していく必要がある。

②管渠老朽化率、③管渠改善率
令和4年度末現在、供用開始から13年を経過している。現在のところ、法定耐用年数50年を経過した管渠も無く、更新の必要性は低い。

全体総括

当市の公共下水道事業は、供用開始後13年を経過したが、現在も第2次整備計画期間中であるため、施設利用率や水洗化率は類似団体平均を下回っている。令和2年度から地方公営企業法による会計処理に移行した。令和3年度に策定した経営戦略に基づき、接続率の向上や経費削減など、引き続き、経営基盤の強化に努めていく。